

広報やわた【防災クイズ一覧表】

	問題	回答
4月	<p>【第1問】 災害への日頃の備えや避難場所、浸水想定区域図などが掲載されているものはどれ。</p> <p>①広報やわた ②やわた辞典 ③防災ハザードマップ ④やわたガイド</p>	<p>【第1問】 ③防災ハザードマップ 避難場所や浸水想定区域図が掲載されています。平時より避難場所を確認し、いつでも手にとれるところに置いておいてください。</p>
	<p>【第2問】 地震が起きた際の揺れの大きさは震度で表されます。気象庁の定める震度階級は全部で何段階？</p> <p>①7段階 ②8段階 ③9段階 ④10段階</p>	<p>【第2問】 ④10段階 気象庁の定める震度階級は、震度0～4、5（弱・強）、6（弱・強）、7の10段階です。</p>
5月	<p>【第1問】 屋内で地震の揺れが収まったとき、次に取るべき行動はどれ。</p> <p>①ガラスなど割れた破片の掃除 ②部屋や玄関のドアを開ける等出口の確保 ③落ち着くためにお茶を飲む ④避難する前にトイレに行く</p>	<p>【第1問】 ②部屋や玄関のドアを開ける等出口の確保 大きな地震では揺れによって入口がゆがみ、ドアや窓が開かなくなってしまうことが想定されます。揺れが収まったら、ドアを開ける等出口を確保することが重要です。</p>
	<p>【第2問】 避難情報等をお知らせする防災行政無線は天候や風向き等によって聞こえにくかった場合、情報を聞くために正しい行動はどれ。</p> <p>①防災行政無線テレホンサービスに電話する ②窓際や屋外に移動する ③防災ラジオを用意する ④市のホームページで情報を確認する</p>	<p>【第2問】 ①～④全て ① 防災行政無線テレホンサービスに電話する ② 放送内容は①テレホンサービスまたは④市のホームページで確認できます。また、閉め切った屋内等、環境によって内容が聞こえにくい場合がありますので、②窓際や屋内に移動したり、前もって③防災ラジオ（有償によって配布）を準備するなど情報を入力しましょう。</p>
6月	<p>【第1問】 避難時、家を出るときに電気のブレーカーを落とす理由は何ですか。</p> <p>①電気代の節約のため ②避難所に電力を供給するため ③復旧した際の火災を防ぐため ④盗電を防ぐため</p>	<p>【第1問】 ③復旧した際の火災を防ぐため 電気が復旧した際に、転倒などにより壊れた電化製品に通電し、火災が発生する恐れがあります。避難の際はブレーカーを落としましょう。</p>
	<p>【第2問】 災害用伝言ダイヤルは次の電話番号のうちどれ？</p> <p>①110 ②177 ③171 ④117</p>	<p>【第2問】 ③171(イナイ) 災害伝言ダイヤルには録音と再生の2種類があり、いずれも171にダイヤルをし、ガイダンスに従い操作を行ってください。詳しい操作方法はハザードマップ9ページに記載しております。平時より確認を。</p>
7月	<p>【第1問】 ガスが復旧した地域で元栓を開いてもガスが出ない場合、復帰操作するのはどれ？</p> <p>①パソコン ②マイコンメーター ③ブレーカー ④ガスコンロ</p>	<p>【第1問】 ②マイコンメーター マイコンメーターが大きな揺れなど（震度5相当）を感知すると安全のためにガスが遮断される場合があります。その際には、マイコンメーターの復帰操作が必要となりますので、平時よりマイコンメーターの場所などを確認しておきましょう。操作方法については各ガス会社にお問い合わせください。</p>
	<p>【第2問】 これまでの避難勧告等に加え、今後、5段階の警戒レベルを用いた避難情報の発令を行います。避難勧告及び避難指示の警戒レベルはどれ？</p> <p>①警戒レベル2 ②警戒レベル3 ③警戒レベル4 ④警戒レベル5</p>	<p>【第2問】 ③警戒レベル4（避難勧告・避難指示） 警戒レベル3(避難準備・高齢者等避難開始)や警戒レベル4発令時には該当地域にお住いの人は速やかに避難してください。また、警戒レベル5（災害発生情報）発令時にはすでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。そうなる前に早めの避難を。</p>

<p style="text-align: center;">8月</p>	<p>【第1問】 局地的大雨とは急に強く降り、数十分の短時間に狭い範囲に数十ミリ程度の雨量をもたらす雨のことです。では、集中豪雨と呼ばれる同じような場所で数時間にわたり強く降る雨の雨量（mm）はどの程度？</p> <p>①10～30mm ②30～50mm ③50～100mm ④100～数百mm</p> <p>【第2問】 大地震などの大規模災害に備え、缶詰めやレトルト食品などの非常食を含む食料品を備蓄するとき、何日分以上の備蓄が必要？</p> <p>①1日分 ②3日分 ③5日分 ④7日分</p>	<p>【第1問】 ④100～数百mm 集中豪雨とは、前線や低気圧などの影響や雨を降らせやすい地形の効果によって、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことによって起こり、激しい雨が数時間にわたって降り続くことで狭い地域に100ミリから数百ミリの雨を降らせ、河川の氾濫や土砂災害などの災害を発生させます。気象情報や避難情報に注意し、早めの避難を心がけましょう。</p> <p>【第2問】 ④7日分 長期間援助物資が届かないこともあるので、缶詰やレトルト食品など非常食を含めて7日以上以上の食料を最低限備蓄しましょう。</p>
<p style="text-align: center;">9月</p>	<p>【第1問】 大雨などにより、膝の高さまで浸水している場合の避難。道路での移動の仕方、正しいものはどれ？</p> <p>①棒などをもって、足元の安全を確かめながら歩く ②長靴を履いて避難する ③濡れないように車で移動する ④歩けないので泳ぐ</p> <p>【第2問】 台風が接近し、風が強くなっているときの行動として「正しいもの」はどれ？</p> <p>①雨戸・カーテンを閉める ②植木鉢や物干し竿などを屋内に移動する ③車を屋内のガレージへ移動させる ④風が通り抜けるように窓を開ける</p>	<p>【第1問】 ①棒などをもって、足元の安全を確かめながら歩く 膝の高さまで浸水しているときは、長靴では、靴の中に水が入ってきてかえって動きにくくなるので、履きなれた運動靴など脱げにくい靴にしましょう。車はマフラーの排気口が水につかるとエンジンがとまってしまうので利用しません。道路が冠水すると足元が見えにくくなり、側溝やマンホールの穴に気づきにくくなるので、棒などをもって足元の安全を確かめながら歩きましょう。</p> <p>【第2問】 ④風が通り抜けるように窓を開ける 植木鉢や物干し竿は強い風で飛んでいくことがあるので、屋内に移動させましょう。風や飛んできたもので窓ガラスが割れることもあるので、雨戸・カーテンを閉め、車も屋内のガレージ等に移動させましょう。</p>
<p style="text-align: center;">10月</p>	<p>【第1問】 建築基準法では、建築物がそなえておくべき耐震性についての基準を定めていますが、その基準が新耐震基準と呼ばれるものになったのは何年？</p> <p>①1959年（昭和34年） ②1961年（昭和36年） ③1981年（昭和56年） ④1995年（平成7年）</p> <p>【第2問】 「非常に強い台風」と呼ばれる台風は最大風速（10分間平均）何m/s以上？</p> <p>①17m/s ②33 m/s ③44 m/s ④54 m/s</p>	<p>【第1問】 ③1981年（昭和56年） 1981年6月1日に建築基準法が改正されて以降の耐震基準は新耐震基準と呼びます。着工前に建築基準法に適合するかを審査された日付（建築確認された日といます）が1981年6月1日以降の建物は新耐震基準で建てられた建物になります。1995年の阪神淡路大震災でも旧耐震の建物に比べ、新耐震基準の建物は被害を受けた建物の数、被害の程度ともに小規模に抑えられています。 ちなみに、①1959年（昭和34年）は愛知県・三重県に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風が上陸した年 ②1961年（昭和36年）は八幡市にも大きな被害をもたらした第二室戸台風が上陸した年 ④1995年（平成7年）は阪神淡路大震災が発生した年です。</p> <p>【第2問】 ③44 m/s 気象庁では熱帯低気圧を最大風速（10分間平均）で分類しています。 ①17m/sを超えると「台風」②33m/sを超えると「強い台風」③44m/sを超えると「非常に強い台風」④54m/sを超えると「猛烈な台風」といいます。 ちなみに、第二室戸台風は最大風速66.7m/sを高知県室戸岬で観測した「猛烈な台風」でした。</p>
<p style="text-align: center;">11月</p>	<p>【第1問】 河川の水位を安全に確認したいときとるべき行動は次のうちどれ？</p> <p>①川まで直接確認に行く ②インターネットで水位を確認する ③テレビのデータ放送（dボタン）で確認する ④高いところに登って確認する</p> <p>【第2問】 台風などにより、電柱や電線に被害が発生した場合の間違った対応は次のうちどれ。</p> <p>①電力会社へ連絡する ②感電のおそれがあるため近づかない ③公的機関に被害の情報提供を行う ④被害状況を知らせる写真をとるために近づく</p>	<p>【第1問】 ②インターネットで水位を確認する、③テレビのデータ放送（dボタン）で確認する 台風接近時などに、河川に近づくと増水等による死亡事故の原因となります。河川の状況は、インターネットやテレビのデータ放送（dボタン）で確認することが出来ます。インターネットの場合、次のホームページで河川カメラの映像や水位を確認出来ます。 ・京都府河川防災情報 ・川の防災情報（国土交通省）</p> <p>【第2問】 ④被害状況を知らせる写真をとるため近づく 倒れた電柱や垂れ下がった電線に触れると感電する恐れがある為、近づかないようにし、発見した際には電力会社などに連絡してください。</p>

12月	<p>【第1問】 生活する地域の被害の危険性を実感できるよう、居住地域をまるとハザードマップに見立て、生活空間である「まちなか」に浸水深などの情報を表示する「まるとまちなかハザードマップ」が設置されている場所は？</p> <p>①八幡小学校 ②くすのき小学校 ③生涯学習センター ④山柴公民館</p> <p>【第2問】 大規模災害で自宅等のトイレが被災し、使用出来ない時に、あると役立つものは？</p> <p>①ダンボールトイレ ②マンホールトイレ ③携帯トイレ ④防臭効果付き袋</p>	<p>【第1問】 ①八幡小学校 市内の小中学校では、八幡小学校、中央小学校、有都小学校、男山中学校に国土交通省により設置されています。近くを通られた場合には浸水深の看板をご確認ください。</p> <p>【第2問】 ①～④全て どれもトイレが被災し、使用不可な場合に役立ちます。①ダンボールトイレは自宅にあるダンボールを使用し簡単に作ることが可能でビニール袋を被せることで、どこでも使用できます。②マンホールトイレは、災害時用として、市内の小中学校に設置されています。③携帯トイレはホームセンターなどで購入可能でこちらもどこでも使用可能です。④防臭効果付き袋は被災によりごみの収集に時間を要する際に役立ちます。</p>
1月	<p>【第1問】 近年、大規模災害の頻発により備蓄の重要性が高まってきており、3年以上保存可能な様々な食品が販売されています。次のうち、実際に販売されているものはどれ？</p> <p>①カレーライス ②シチュー ③パスタ ④おでん</p> <p>【第2問】 ダムは、大雨による洪水時に川の上流から流れてきた水を一時的に貯め、下流域に流れ込みすぎないように放流量を調節し、下流域での氾濫を軽減する役割を持っています。八幡市を流れる木津川の水量を調節するダムは、次のうちどれ？</p> <p>①高山ダム②天ヶ瀬ダム③日吉ダム④川上ダム</p>	<p>【第1問】 ①～④全て ①～④全ての食品は、保存期間5年間で実際に販売されています。そのほかにも様々な種類の長期保存食がホームセンターやスーパー等の身近な場所で販売されていますので、最低3日分の備蓄をしましょう。</p> <p>【第2問】 ①高山ダム 高山ダムは木津川に流れ込む名張川に建設されたダムです。大雨により、名張川の水量が増えた場合には、高山ダムで水をため木津川に流れ込む水の量を減らし、下流河川の水位の上昇を抑えています。ダムが流す水の量等は高山ダムのホームページから確認できますので、情報に注意しましょう。</p>
2月	<p>【第1問】 家具転倒防止対策として間違っているものはどれ？</p> <p>①家具転倒防止用のL型金具を本棚の上部奥側に取り付ける ②ガラス飛散防止フィルムを食器棚のガラスに張る ③転倒防止用突っ張り棒をタンスの上部手前側に取り付ける ④転倒防止用シートをテレビの下につける</p> <p>【第2問】 活断層による地震が発生すると震源付近に大きな被害を及ぼすおそれがあります。八幡市付近に存在が確認されている活断層帯として、間違っているものはどれ？</p> <p>①有馬高槻断層帯②花折断層帯③生駒断層帯④日奈久断層帯</p>	<p>【第1問】 ③転倒防止用突っ張り棒をタンスの上部手前側に取り付ける 転倒防止用突っ張り棒はタンスの上部「奥」側に取り付けましょう。家具が手前に転倒する場合、奥のほうが持ち上がるためです。</p> <p>【第2問】 ④日奈久断層帯 ④日奈久断層帯は、熊本地震が発生した活断層帯です。①～③については、八幡市付近に存在が確認されている活断層帯です。その他にも京都府には、確認されている活断層帯があるので、確認しておきましょう。</p>
3月	<p>【第1問】 「ローリングストック」という備蓄の方法があります。次のうち「ローリングストック」と呼ばれている備蓄の方法はどれ？</p> <p>①長期保存ができるものを大量に備蓄する。 ②日常的に買うものを古いものから食べたり使ったりして、また買い足すを繰り返す。 ③非常食を1食ずつわかりやすいように分けて備蓄する。 ④近所のお住いの方と協力して備蓄する。</p> <p>【第2問】 八幡市では、「FMひらかた」と連携し、災害時に緊急放送として各種情報を伝達するため、試験的に平時より「ラジオシティ八幡」という番組で防災などに関する市政情報を放送しています。この「ラジオシティ八幡」を視聴することができる「FMひらかた」の周波数は、次のうちどれ。</p> <p>①77.8MHz ②77.9MHz ③81.2MHz ④81.3MHz</p>	<p>【第1問】 ②日常的に買うものを古いものから食べたり使ったりして、また買い足すを繰り返す。 ローリングストック方式で備蓄するのは、普段の買い物の範囲で備蓄できるので、費用や時間の面で負担が少なく、買い置きスペースを少し増やすだけで簡単に備蓄できます。ぜひ、ご家庭での備蓄には、ローリングストック方式を活用しましょう。</p> <p>【第2問】 ②77.9MHz 八幡市では、「FMひらかた(77.9MHz)」で毎日12時54分からの5分間(土曜日のみ13時54分からの5分間)に防災情報などの市政情報(大規模災害発生時は各種支援情報など)を放送しています。また、スマートフォンでもアプリ「ListenRadio」をダウンロードし選局して視聴できます。</p>